

2010年1月23日(土)

第3回 日本学連幹事会

文責: 矢野 貴裕(関東学連幹事長)、佐藤 俊(幹事長)

➤ 議題1 自己紹介

(省略)

※日本学連幹事では副幹事長 長峰と広報部長 藤島が欠席。

➤ 議題2 活動報告書作成経過報告

作成委員長の西名(茨城3)より、進捗状況の報告。

作成依頼のメールに対して返信がない部局も存在する。特に昨年度幹事。

→昨年度副幹事長に関しては連絡(→佐藤)。早急に対応すること。

※印刷の依頼の仕方。

前回年度はGMから事後に請求が来る。

→今年度は事前にGMに値段を示してもらって、事前に交渉するだけ。

※活動報告書の作成枚数。

1大学に2冊ずつは多い。数年前までは全員に1冊ずつだったが、検討の余地あり。

基本大学あたり1冊配布にして、キャンパスが複数に分かれているなど大学ごとに請求があれば

1大学に2冊配布。

➤ 議題3 インカレリレー選手権の部混成チームのエントリーについて

日本学連全体で、インカレエントリー者が3名未満の大学同士なら選手権に出ても良い。

エントリーフォームの在り方。今のフォームは分かりにくすぎる。

土方理事「混成チームについては、学連の方であり方を決めて、それを実行委員会に伝えればそれでよい。主催は日本学連にあるし。」

→幹事会の決定として、実行委員会に上程する、という形にします。

表彰の場合は、メダルを使うと無駄になる可能性が高いので、賞状と副賞に留めた方がよい。

エントリー数が2人の場合、2人とも同じチームであることを前提として、3人目を他大で探してもらおう or 明文化せずに裁量に任せるか。

→「大学の名前を背負って」がインカレリレーの在り方。本来的には同一大学から2人エントリーしている場合には、両方使った上で、3人目を他大から探してもらおう方針にしましょう。

➤ 議題4 会計収支の改善について

【過去の収支を確認していたら、いくつかの使途不明金が発生していることが判明。以下、便宜的に名称をつける。】

1. 91年問題

あるべき金額と現存する金額に150万円の開き。仕方ないから雑損として処理。

2. 常磐問題(1993年)

常磐インカレで240万の事業黒字且つ200万円の貸付金。決算まで学連で承認が終わった。

この計440万円が学連口座に帰ってきているか確認がこちらから採れない。

→実行委員長は松澤さんだった。おそらくこちらの不備で記録がなかった。

3. 横関問題(2001~2003年)

2001年の会計が、フロッピーの破損により会計のデータが消滅。その前年・後年の確認はできたが、その年の会計の横関さんに連絡がつかず、ここで300万円の不明赤字が出ている。

4. 下野問題(2001年インカレ)

250万円の貸付金が日本学連会計に戻ってきていない。

実行委員会はジェネシスからの請求がないと決算が閉まらないが、ジェネシスからの請求はなく、うやむやなまま。

要するに、一刻も早く決算を閉め、貸付金と事業収入を日本学連口座に振り込むように依頼。

→2006年の日本学連の会計担当者の不備だったことが判明。

250万円の入金を確認した。

→今年度の収入にみなしとして計上。

今年度も100万程度の赤字。

対策として

・関東学連からの事務局家賃の支払いを高くする。

・一部の地区学連がけっこう黒字。地区学連の加盟費を下げて日本学連のそれを上げる。

(関東学連の会計状況→累積150万強の黒字。今年度は30万程度の黒字)

09年度の30万円の黒字は例外的ではあるが、加盟費を半減させて、その分を日本学連の加盟費にすることも可能。

・ユニバー補助の 70 万は疑問。

ユニバーは大学生じゃない人がいる。世界のトップの大会でもない。何に使っているかも分からない。1年当たり 35 万は多すぎる。今年はユニバーがある年でもあるし、早急に西脇技術委員長に連絡をとる。(→佐藤)

・幹事会宿泊費・交通費の削減は可能か??

幹事会宿泊費・交通費は削減すべきではない。幹事を誰もしなくなる。

日本学連の幹事会とかは基本関東地区ですのだから、基本的に関東の人を選べば交通費は減る。役職も減らしたら減らせるのではないか。

→広報と副幹事長を兼ねれば良い?

・関東地区をベースとしたとしても、他地区学連でのヤル気のある人を無駄にしないためにも、もっと広報をしっかりとすべき。インカレロングで日本学連ムービーを流すとか。

関東は宿泊費を、北東と東海は交通費を負担する、とか。

→来年度は一部の地区学連が交通費を負担する形に。一律的に地区学連を下げ、日本学連を上げ収支の均衡を取るという形は余裕のある・ない地区学連が分かれているため却下。

ただ、日本学連の加盟費を値上げするのならば、一律的で無いにしろ地区学連の加盟費を、少し黒字程度に値下げする必要あり。

・賛助会員の賛助金をフィードバックする。

地区学連は黒字だからフィードバックしなくて良くない? 地区学連のモチベーション・賛助会員集めのきっかけにもなるからフィードバック率を下げるのは良くても、全廃はなくしましょう。

・技術委員会費

これは減らせるはず、という反応を西脇さんからいただいている。

現状では、あまった費用を会計に戻している状況。今後は予算段階から数字を絞ってあげて欲しい。

→単にキャッシュフローの問題。

・活動報告書の費用

ジェネシスとの話し合いが必要。なるべく削減できるようにしたい。

(→西名が見積もりを請求)

・地図の販売代金を上げる。

関東学連所有の地図がけっこうある。今は使われていないが、何か使用用途があるか?

→難しい?

・加盟費値上げ幅

個人加盟費は 1,000 円上げ。正加盟費は 4,000 円に。準加盟は 1,000 円に。

→加盟費 1000 円アップは 100 万赤字→30 万赤字。ユニバーが1年 30 万減らせればプライマリーバランスは均衡状態に。

※参加費 1000 円アップ→30 万赤字→幹事会交通費の財源を地区に移譲で 10 万節約→もろもろの節約・賛助会員のさらなる拡大で 10 万→ユニバーは最悪でも1年当たり 10 万節約したい→したらプライマリーバランスは 0 になるはず。

➤ 議題5 アジェンダ' 20

幹事の任期は1年。毎年 4 月にはリセットされちゃう。

そこで、20 年までの行動計画を立てて、後輩の幹事たちはそれを見ながら通年・越年の計画を立てて行って欲しい、的な感じが趣旨。

井戸：赤字をなくす。幹事でも女子を増やす。

佐藤：法人格を取得。JOA と対等に。

斎藤：後夜祭が続くこと。引退した人でも、幹事会に顔を出せる環境を。

矢野：広報をがんばること。加盟員への周知に徹底。

斎藤：新歓方法の共有とか。上手くいくとこと行かないとこの差。

佐藤：地区学連がんばれ。

矢野：加盟員が増えること。

市脇：上級生がオリエンの楽しさを分かっていない。だから伝えられない。

西名：指導力不足。オリエンの楽しさを伝えられない。新歓の問題を解決すること。

市脇：紹介動画。写真と文字を入れ替えるだけで各大学独自で使えるようなフラッシュを作成する。

一括して使える HP があると良い。

矢野：広報部の仕事にしちゃう。

井戸：女子向けのほんわかムービーが欲しい。

西谷：「国際的なスポーツ」

西名：同級生同士で仲良くなること。大学間の交流も欲しいなあ。ペア O をもっと早く！

斎藤：定着させる前の段階で、学連主催で新歓イベントできたらよいな。

(佐藤)

単にウォンツリストになってしまったが、少しずつでも実践してみよう。

→共通新歓 HP に関してはウェブ管理の西名が検討中。

➤ 議題6 理事会報告

2009 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会ミドルディスタンス/リレー競技部門
イベントアドバイザーについて西脇氏への承認を行った。

(幹事長佐藤が代理で報告。)

続き、土方理事が 08 年度春インカレの決算を報告。

① 全日本との共催により、併設大会での収入高い。

② また、役員宿泊費が施設に安く泊まれたために 25 万近く予算より安い。

の2点が主な要因となって、46 万円の黒字。

※地図作製費において予算より決算の方が 100 万円以上高いのは、調査で余計に 20 万円かかり、印刷代を失念していたのでさらに余計に 80 万円かかったため。

宿泊輸送の値段が高い。日本旅行に委託を続けるのはどうなのか。他に京王とか近鉄とかある。

→日本旅行には圧倒的なノウハウがある。

ただし、学生側から日本旅行への反発もある。少なくとも契約期間の変更を申し入れるべき。

以前の日本学連への苦情が上がったときに、各大学へのアンケートをとった。その時の結果を問い合わせて、その上で今年もアンケートを取る。(→事業部長の仕事)

➤ 議題7 TCG 報告

※別添 TCG 報告資料を参照。

(幹事長佐藤が代理で報告。)

➤ 議題8 技術委員会報告

(幹事長佐藤が代理で報告。)

➤ 議題9 諮問委員会報告

(報告なし。)

➤ 議題10 各部局報告

・普及部

活動報告に寄稿。

・事業部

インカレ開会式・後夜祭・講習会。

シード選手紹介が今年は60分。Bエリートの紹介も検討。

・会計

中間決算を挙げる。

・事務局

順次地図販売。インカレ前のいぶきをメールアドレス未記入賛助会員に郵送。

※詳細は別添資料を参照。

➤ 議題11 地区学連活動報告

※別添資料を参照。

➤ 議題12 後援申請(東大大会とインターハイ)

→全員一致で承認。

インターハイの後援申請理由が「後援のため」と記載されており、意味不明。

インターハイ実行委員長に注意を喚起する。

➤ 議題13 春インカレ進捗状況報告

プログラム発行が着々と進んでいる。イベントアドバイザーは西脇さんに決定。(cf.理事会報告)

開会式は鹿沼市民センター。

オフィシャル以外のOBOGが学生の近隣の施設に宿泊したい場合は、今月中に日本旅行に連絡すること。(→佐藤が担当。1/26日付で加盟校渉外にMLにて連絡)

➤ 議題14 2010年度秋インカレ学生協同について(cf.TCG 報告資料)

2010年度インカレロングでは、主管の大阪 OLC が当日の担当しかしない。
モデルイベントの設置と練習は日本学連にしてほしい。モデルイベントの会計は日本学連が担当してほしい。

→事業部長を通して関西学連に委託。

ジェネシスマッピング所管の「地図調査、コースセット、テープ巻き」に関しては、モデルイベントを仮に採算度外視で修正調査するのはコストパフォーマンスに欠ける。

→当日の参加者×参加費の範囲で調査をお願いする。

2010年度インカレロングに、学連から現在の4年(すぐにOB1年目になる)や直上のOB1・2年目の人を10名程度確保してほしい。関西学連だけでは負担が集中してしまう。

→関西5:東海5。

➤ 議題15 日本学連賛助金フィードバックの使い道について

- ・関東学連は新歓ペアOの新人参加費を0円にする予定。
- ・関西学連は新歓合宿の運営費に回す。学連会計の赤字の補填に繋げる。
- ・北信越学連は額が少ないこともあり、会計に回すことになりそう。

➤ 議題16 大学卒業者と地域クラブの連携について

京都大学 OB の西村さんより提案。

大学を卒業して OBOG となったオリエンティアの新住所・所属(就職先・大学院)などを記載したリストを作成して、地域クラブに配布。地域クラブとしては新しく仲間が獲得できてうれしい。

学連のすることとしては、卒業生の進路など個人情報をもとめること。

渉外を通して、個人情報をあつめる感じ。

地域クラブの側が、新歓冊子のようなものを用意して、それを卒業生やOBOGに学連・渉外を通して提供する。そっちの方が理にかなう。

知らない地域クラブの人に自分の個人情報を公開するのは抵抗がある。

インカレのプログラムや報告書に、地域クラブのPRを広告として掲載するのも一手。

学連HPに地域クラブのリンクを載せるのも一手。いぶきに地域クラブの宣伝を載せるのも一手。

➤ 議題17 次期幹事について

北東→田村(東北1)
関西→山下(京都2)
北信越→小山(新潟2)
関東→宮崎(東工大2)
普及部→西谷(京都女子2)
ウェブ管理→未定
事業部→未定
会計→未定
事務局→未定
幹事長→未定

➤ 議題18 その他

ジェネシスマッピング(以下、GM)との契約が来年度で切れることについて。

GMとの接点はインカレ実行委員会や活動報告書作成委員しか持っていない。

→業務上の問題が本当にあるのかどうか？

土方さんが実際にインカレ実行委員会にヒアリングしてみた。

「GMがたしかに仕事の遅い時もある。ただ、遅れながらも結果としては仕事をこなしている。インカレ実行委員会側も、契約書にある規定を履行していない場合も多いので、一方的にGMを非難することはできない。実際にはある程度の改善は見られる。」

契約書3条4条は正しく運用すればよい話。

つまり日本学連が自らGMとプログラムの納期・費用などを交渉し、納期に間に合わなかった場合は4条3項を適用すればよいだけの話。

ただし、「インカレはすべてGMに委託する」という前提の現行契約は違和感。

山川氏の体調などの問題もある。契約年数(現在は5年)を減らすか、「GMに委託できる」という表現にする。

「GMに委託できる」とした時のデメリット

→会社としては、インカレの委託が来なかったときのために、毎回の単価が上がってしまう。

インカレ以外のイベントにも目を向けなければならないので、いざインカレを委託する場合、インカレへの労力が減っちゃう可能性もある。

「毎年更新にする」とした時のデメリット

→実行委員会は2年前くらいから決まる。もし急に GM から委託企業が変わっちゃったら、困る。

結論

契約そのものは、きちんと運用すれば問題ない。「きちんと運用」のための方策は担当の事業部が個別に把握。

契約で改善できるのは契約年数を5年から2年にするとかそのくらい。

契約よりも本質的な問題は、いかにインカレを継続するか。このことについては、インカレミドル後に別途しっかり開催する。

➤ 議題19 次会幹事会、次回総会について

幹事会はインカレリレー後、ファミテックにて開催予定。

学連幹事は、幹事会後に後夜祭に乱入する感じです。

以上。

場所:八王子セミナーハウス

時間:15時15分開始、24時15分終了

(途中18時~19時食事休憩)